

木工教室

2024 年 9 月 21 日土曜日に木工教室を開催しました。服部商店の社会貢献活動の為だと思っています。

2024 年 3 月 16 日に第 1 回目を開催しました。5 月 25 日に第 2 回目を開催しました。両方とも、服部商店の別ブランド「そうぞうざっか」のそうぞうパズルの制作をして頂きました。

2 回の開催で学んだことがあります。それは木の素晴らしさを知って頂く努力が不足している事実です。

木って素晴らしいコンテンツの塊です。しかし食料品とは違い、日常必要な物ではありませんでした。木の持つ実力と、昔の事実を以下に書きます。

冷蔵庫が木でできていた事実。洗濯板を使っていた事実。お櫃を使っていた事実。様々な生活空間が木製品で溢れかえていたのです。その事実を、木材を扱っている我々が知らないことが課題だと思います。

その課題を解決はできません。それだったら、木材の良さを原点から知って頂くことができれば良いかもしれないと考えて企画したのが木工教室です。

この 3 回の催しで、普段では体験できない木の素晴らしさを再発見しました。それを新たな事業【マーケットから必要とされる材木屋になること】に活かしていきたいと考えています。服部雅章の残されたエネルギーが枯渇するまで時間がどの程度残されているかはわかりませんが、御先祖様が与えてくれた材木屋の本懐をやり切ろうと考えて、毎年変化する業態になることで様々な課題を解決できると考えています。

本当の意味の付加価値の有る、生産性の高い、社員も御客様にも喜んで頂ける会社に仕上げることが、小生の残された宿題だと思って努力しています。



世の中から必要とされる服部商店を目指します。

東京出張

2024年8月23日東京に出かけてきました。目的は2025年に向け何をすべきかと言うことを確かめるためです。

小生の考え方は東京一極集中が日本にとって最も好ましくない状況だと考えていますが、現実には東京を中心に日本国が動いている以上、東京の生み出す躍動感に挑戦することこそ、来期の服部商店の躍動感に繋がると思います。

朝8時30分過ぎののぞみ号に搭乗して東京に入りました。まず日本橋にある川口額装さんを訪問しました。お会いするのは10年振りだと思います。川口社長とは40数年のお付き合いです。亡き父が残してくれた人的財産だと思っています。額装屋と額縁メーカーとのお付き合いのあり方をお聞きしました。【服部商店は額縁メーカーに材を納めていました。納めた額縁メーカーから川口さんに商品が流れます】

川口さんの額縁は一般に販売している額縁と比べて高価です。およそ倍の価格です。勿論絵画が有っての額縁の価格ですが、凄く細かい所迄目が行き届いています。それを付加価値と呼ぶのだそうです。価値と付加価値の違いを具体的に表現するのは非常に難しいことかもしれませんが、大阪から東京に進出して日本橋に40坪の土地を持っている実績から推測するとなるほどと感じました。

次に今回の目的【服部商店 東京出張所開設の可能性】の為に徒歩で移動しました。道中、日本経済の現在の指針を決める証券取引所の前を通り、目的地に向かう前に近くのおしゃれなネットカフェに入り様々なことを調べました。

そこで感じたことは、如何に東京が大阪に比べて一見無駄ではないかと思うスペースが有る建築物が有ることです。効率を徹底的に追及すると、人はギスギス感を感じます。土地の価格が大阪のおよそ倍です。その中で商いをするのですから、当然価格も大阪に比べると高くつくのが当たり前です。ここで先ほど訪問した川口社長の言葉が浮かんできました。要は高品質で高価格は当たり前です。所謂ストーリーの有無が勝負の分かれ目だと言うことです。

服部商店の中身を大きく変えるのではありません。服部雅章の残りの時間がどれくらいあるかは解りませんが、残された時間を如何に効率よく使うかだと思っています。その為には出張所が必要ではないかと考えました。



今回の出張所を出すという考えは勿論商いの為です。その為には、大阪で困っていないくても、東京で困っていることが有るのではないかなという発想です。

今考えているのは、1か月に1日開催できればと思っています。（相談会のようなスタイルが良いかと思っています）

小生が東京に出掛けて困っていることを聞く機会を作れたらと考えています。そういう積み重ねが、将来出張所を営業所に格上げができ、最終的には東京支店になれば嬉しいと想像しています。

用事を済ませ、3時半過ぎに帰阪の途につきました。行きはのぞみ号でしたが、帰りはヒカリ号にしました。

すると小田原から海外の方が大勢乗り込まれてきました。小生の横に海外の方が着席されました。翻訳ソフトを使い2時間近く会話を行いました。その中で解ったことを整理します。彼はフランス人です。

- ① フランスも国内で様々なトラブルを抱えています。
- ② 様々な課題に対して正々堂々政府と向き合っています。
- ③ フランスは8階建て以上の建築物の高さ制限があります。
- ④ フランス人は比較的人口が少ない所で生まれ育っています。
- ⑤ 彼から写真を撮らせてと頼まれました。

趣味の話、仕事の話等々様々な話ができるようになったのはスマートフォンのお陰です。彼は京都駅で下車し、右のイベントに参加するとお聞きしました。

秋篠宮殿下が開会の挨拶をしているイベントと、後程調べて解りました。如何なる活躍をしてくれたかは解りませんが、25歳のフランスの若者と話ができただことに感謝します。



2025 年に向かって

ウクライナ危機やイスラエル問題が何時頃終わるのかは誰も解りませんが、必ず終わります。終われば確実に起こる事を予想することは難しくないと思っています。

デフレからインフレになることだと想像しています。勿論人口減少や、様々な課題が日本中に山積していることも承知しています。

日本がこの 30 数年間で世界の一流から落ち込んだと言われていますが、こんな日本に世界中の方が大勢来ているのです。インバウンドが戻ってきたとか、様々な見方があることは事実ですが、日本に真の実力がなければ世界中の方が来ますか。

交通インフラ・治安・文化等、平均すれば世界一の実力が有るのが、実は日本だと思っています。日本の課題とは日本人の崇高な理念【和を以て貴しとなす】の取り方だと思っています。

コンセンサスに重きを置くことと、課題を先送りすることとは全く違います。上記の言葉の意味を正しく理解したら、山積する課題を解決していける知恵を持っているのが日本人だと思います。

日本には資源が無いと言われています。石油が無い。天然ガスも無い。食料自給率も低いと言っていますが、本当にそうでしょうか。日本の周りは海です。そこに無限のエネルギーが眠っています。希少金属も有ります。森林資源も有ります。食料自給率の課題も解決する手段がないわけではありません。魚の養殖を陸上で実用化しています。また、野菜工場も本格的に実用化することも可能だと言われています。そんな優秀な頭脳を持っているのが日本人だと小生は信じたいと思います。

日本に唯一の課題が有るとすれば、政治の世界ではなかろうかと思っています。その課題も数年で解決はできないかも知れませんが、これから 5 年から 10 年で解決できると信じたいと思います。

要は、政権交代可能なことが真の民主主義体制です。現在の日本は中国やロシアと同じ様な共産主義的な国かも知れないと思っています。

日本人の 2,000 年以上継続してきた天皇制にしても、過去に幾度と難題がありました。しかし日本人の文化として継続されている事実を見た時、世界一優秀な民族だと思います。

GAFA 等のベンチャー企業が出てきにくい国かも知れませんが、日本人のやり方で自信を持って継続出来れば、必ず現在の閉塞状況を打破してくれると期待しています。

2025 年にどんな政治体制に日本がなろうとも、政治家を使いこなすのは我々市民です。政治家は我々市民の為に尽くすのが仕事です。我々が自信を持つかどうかは、我々が望む政治家を送り出せるか否かにかかっていると信じたいと思っています。

政治家を〇〇先生と言わず、〇〇さんと呼べる様になる発想の転換さえ出来れば、日本は復活すると期待します。

有るようでない、こんな物有ったらいいかないと考え作ってみました。

毎月服部新聞を購読頂きありがとうございます。

毎月お送りする服部新聞は木材専門紙・一般紙と違い、小生の考え方と一般には入手できない情報の構成でお送りしています。

材木屋の考え方が正しいと言う主張はしていないつもりですが、材木屋的発想で書いている時も有ると思っています。申し訳ございません。

ところで、最近の物の高騰や超人手不足の為に、様々な所で使用される部材の変更が行われていると聞いています。それに対して、安く良い物を提供することは無理だと思います。それは、昨年大手マンション建設業者の所謂タワーマンションを見に行った時の経験です。

① 購入する資力の有無を初めに尋ねられました。つまり冷やかしでは正しい見積もりは出せません、と言うことです。

② 7 千万円から 4 億迄のレイアウトの構成を見に行きました。既に 1 億以上は完売でした。

③ 全てのレイアウトでオプションは可能ですが、突板も使わない全てシートでした。

有能な女性の販売スタッフは、小生の様々な質問に対して、お返事はマンション購入には合格点だとは思いましたが、なんとなく腑に落ちないこともありました。

それは木の説明だったと思います。使用されている部材の説明にブラックウォールナット色とか、ブラックチェリー色だと仰っていましたが、今一感動が無かったのです。

何故彼女は感動の有る説明ができなかったのでしょうか。それは我々材木屋の責任だと考えました。タワーマンションには家具以外に無垢材は使えません。かろうじて突板しか使えないことも承知の上で、無垢材の良さをマンション購入の方に伝えるツールを我々材木屋が提供していたら、今のようなシート一点張りのマンション建設になったのでしょうか。

建設資材の高騰・超人手不足の為に、高騰したマンションは夫婦二人の稼ぎがないと買えない世の中になってしまったこと。勿論一戸建ても含めて無垢材を使いにくい事情になったことも含めて考えました。

弊社は木材業を営んでいますので、無垢材をご購入頂くのが望みではありますが、世界的な環境問題や、産地のナショナリズムの台頭で、良質材の入手も難しくなりつつあることも合わせて考えると、もっと柔軟な設計が、これから必要になってくると思います。

今回ご提案する物は、自分では面白い商品だと思っています。

名前は、そうぞうざっかの「そうぞうブロック」です。世界の広葉樹で、日本国内にて流通している代表的な樹種 16 種類を 60mm のキューブ（写真参照）にしました。

60mm の大きさで感じるフィーリングは、建材の見本帳では感じ得ない感動を与えることができると思います。

味わって頂きたいのは、目で見た感覚・手で持って頂いた時の感覚・ごくわずかしかなかったかもしれませんが醸し出す香りです。

ところで昨年 12 月に 4 年振りにアメリカに広葉樹原木の仕入に出かけて来ました。比較的新しいホテルに宿泊しましたが、「アメリカでも無垢材の床材から石油系建材に、使用される材が変わりつつあります」と、現地日本人エージェントから案内されました。現実にもそうでした。

5 泊 7 日の強硬日程の中、1 泊だけ比較的古いホテルに宿泊した時は、床にレッドオークの無垢材が使われていました。

管理された森林を持っているアメリカでさえこのような有様です。

我々が生活する日本列島は、植林されたヒノキ・スギは身近に有りますが、それ以外の樹種を知りたいと思いネット上にある情報を検索しても、本当に知りたい真実の情報にはたどり着いていないと思います。

大手家具メーカーのショールームに出かけても、塗装技術の発展で本当の無垢材の色を知ることさえ難しくなっています。

先程もご紹介しましたが、無垢材を使うか木質系建材を使うのか、それとも石油系建材を使うのかを最終判断するのは消費者の皆様です。

そのお手伝いをするのが建築士・工務店・デザイナーの皆様役割だと思います。私達材木屋は無垢材を購入して頂くのが本来の仕事ですが、現実と理想が乖離している以上、現実に合わせて仕事をするのが求められていると服部商店は判断しました。

私の仕事も、様々な木材の違いを知って頂いた所から出発しなければならないと悟りました。

神様の最高の贈り物である素晴らしい無垢材を購入して欲しいのに、具体的な行動もせずに現状環境のせいにして仕方がありません。それよりも大事なことは、自身が現実と向き合い、本当の真実を伝える為の普段努力以外に選択肢が無いのだと考えました。

同封している写真は、服部商店の子会社：(株)マデラススタイルが考案した商品です。

<https://www.sozozakka.net/> Google で「そうぞうざっか」と検索して下さい。

そうぞうブロック「ものづくりブロック」と言う名前をつけています。

最後に、マデラススタイルという会社と「そうぞうざっか」の紹介をさせて下さい。マデラとは、イタリア語で木材の意味です。スタイルは姿です。木を使う新しい考え方が必要だと考え立ち上げた会社です。

「そうぞうざっか」の意味は、雑貨とは本来使う方が何に使うかを定めるものであると思いますが、販売する側がインテリア雑貨・服飾雑貨と命名しています。住まいの設計と同じ感覚、つまり想像して創造するのが本当の姿だと思っています。

この考え方と、住まいの設計をされる方の思想は同じだと思っています。

今回特別に【世界の16選 樹種説明印字】正規価格 33,1250 円の商品を、20,000 円(送料・消費税込み)でご奉仕させていただきます。同商品はアマゾンでも販売しています。ご希望の方は、別紙の QR コードから直接ご注文ください。

※上記価格は、このお便りを受け取られた方限定のものです。



そうぞうざっか

ものづくりブロッ ク世界の16選 樹種 説明印字

¥33,125 ¥26,500

税込 配送料はチェックアウト時に計算されます。

数量

カートに追加する

shop Pay で購入

別のお支払い方法

関連商品



ものづくりブロック 世界の16選 樹種名印
字

¥33,000 ¥24,000

〒596-0011 大阪府岸和田市木材町 16-1

株式会社 服部商店

代表取締役 服部雅章

TEL. 072-438-0173

FAX. 072-422-8577

そうぞうざっか

「そうぞうざっか」の意味は、雑貨とは本来使う方が何に使うかを定めるものであると思いますが、販売する側がインテリア雑貨・服飾雑貨と命名しています。住まいの設計と同じ感覚、つまり想像して創造するのが本当の姿だと思っています。

特別価格でのご購入はこちらから

開いたページに以下のパスワードを入力してください

パスワード：0173



運営：株式会社マデラスタイル